

【全国発信記事】 大阪支部

京都府《舞鶴市》《舞鶴市議会》へ申し入れ

大阪支部は、第82回定期全国大会の決定事項に基づき、令和3年1月11日に京都府舞鶴市と舞鶴市議会に対し、申し入れ活動を展開した。大阪支部は、引き続き活動方針の具現化に向け、活動を行っていく

《舞鶴市》《舞鶴市議会》 新日本海フェリー 大門貴光職場委員が同行

申し入れでは、佐藤宗昭大阪支部長から申し入れ文書を手渡すとともに、趣旨と内容を説明し、意見交換で理解を深めた。主な申し入れの内容は、

- ▽新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受ける事業者に対する運航支援策
- ▽港湾施設の強化・改修、港湾使用料の見直しについて
- ▽船員確保に向けた海事思想教育の普及について
- ▽日本人船員の重要性と船員税制の早期実現について一など

《舞鶴市》《舞鶴市議会》 から示された見解

京都の海の玄関口としてフェリーや船舶の重要性は理解している。

▽港湾使用料について

京都府が管理しており明確な回答はできないが、京都府と連携のもと、さまざまな形で支援策を模索したい

▽船員税制について

税の公平性を踏まえれば理解はするが、現時点での実施は難しい。他地区の動向も踏まえ慎重に検討していきたい

▽海事思想の普及活動について

港とともに歩んできた歴史を再認識し、積極的に職業体験をはじめ、教育や環境作りに取り組んでいきたい

「海員だより」